横浜市立 葛野小学校　令和 4 － 6 年度版　中期学校経営方針　（ 令和 5 年度修正 ）

学校教育目標	「未来を拓く 健やかな 葛野の子」 〇ともに学び合い、ねばり強く取り組める子を育てます（知） 〇よいこと、悪いことをきちんと判断し、責任をもって行動する子を育てます（徳） 〇心と体をきたえ、自分やひとの命と体を大切にする子を育てます（体） 〇人や自然を大切にし、思いやりをもって共に生きる子を育てます（公） 〇多くの人とコミュニケーションを通して、考え、深めあえる子を育てます（開）

学校概要					
創立 49 周年	学校長 阿山 美香	副校長 山口 聡	2 学期制	一般学級：16	個別支援学級：5
児童生徒数： 482 人	主な関係校： 汲沢小学校 汲沢中学校				

教育課程全体で育成を目指す資質・能力
〈コミュニケーション能力〉 〈問題発見・解決能力〉 〈自分づくりに関する力〉

汲沢中ブロック	小中一貫教育推進ブロックにおける育成を目指す資質・能力を踏まえた「9年間で育てる子ども像」と具体的取組
汲沢中学校 汲沢小学校 葛野小学校	自ら学び、社会につながり、互いに高めあう子 〇たてわり活動による異学年交流を活発にし、相手に応じたコミュニケーションの仕方を学ぶ。運営委員会を中心に挨拶運動に取り組み、汲沢中学校の職場体験の際には、中学生と合同で挨拶運動を行い、コミュニケーションの素地を養う。 〇日々の授業の中で自分の考えを表現する力を養う。また、小中合同授業研究においても、互いの考えを認め合いながら学習を深めることができる児童の育成を図る。

中期取組目標	
	〇職員一人ひとりの力を発揮していくとともに、チームで「未来を拓く健やかな葛野の子」を育てます ・自ら学ぶ力を身に付けると同時に家庭学習の充実を図り、基礎・基本的な知識・技能の習得、その活用力を育てます ・道徳教育の充実と生活指導を通して、他者と共存する規律ある態度の向上をめざします ・「早寝 早起き 朝ご飯 元気なあいさつ 外遊び」のスローガンのもと、健康でたくましい心身の育成を図ります ・積極的に地域と関わり、まちとともに歩む学校づくりを推進します

重点取組分野		具体的取組
知	生きてはたらく知	①40分授業の実施に向け、学習計画を改善するとともに、教科分担制も活用しながら児童一人ひとりが主体的に資質・能力を身に付けていくことができるように、授業改善を図る。②ICT担当を各学年に置き、ICT支援員との更なる連携を図りつつ、GIGA端末を活用したカリキュラムを推進し、個別最適な学びの充実を目指す。
担当	教育課程部・情報広報部	
徳	豊かな心	①各教科領域を通した教育活動を人権教育と関連付け、考え方の違いが分かり共感・共生できる感性と自己肯定感の育成を図る。②学級・学年・たてわり活動や総合的な学習等での外部講師との関わりを通したコミュニケーション活動の場を充実させ、他者の気持ちを考え、違いを認め合い、尊重できる関係づくりができるようにする。
担当	人権部・道徳部	
体	健やかな体	①子ども自身が視覚的に課題把握や問題解決ができるように、ICT機器（できれば3年生以上）や掲示物、学習カードなどを工夫し、互いに伝え合い高め合える場を設ける。②子どもの主体性・積極性を高められるように、いきいきキッズを年2回、長縄集会を年2回行う。チャレンジ縄跳び（リズム縄跳び）は年間を通して行う。
担当	体育部・特活部	
公	公共心と社会参画	①ペア学年での交流と、たてわり活動（1～6年生）を従来のような活動に戻し、自分らしさを発揮し、他者とのふれあいを深めながら行動しようとする力を育てる。②どの学年も系統的に、社会・総合・生活などでの主体的にかかわる機会を設けていく。
担当	特活部・生活総合部	
開	未来を開く志	①総合や生活を中心とする各教科において、児童の思いや願いからスタートする学習の過程や、直接的な経験と人との関わりを意図的計画的に積むことを重視する。②他者との関わりの中で、自分の内面と向き合い、自他の違いを受け止めながらコミュニケーションを図ることができる力を更に育成する。
担当	生活総合部	
いじめへの対応		①y－pの積極的な活用を通して情報発信に努め、いじめの未然防止につなげる。②アンケートの見取りを丁寧に行い、いじめの早期発見・適切な初期対応を図る。③打ち合わせ等で情報共有を行い、組織的に全職員で児童の見守りと指導・支援を行う。
担当	児童指導部	
働き方改革		①40分午前5時間制を導入と、全学年で授業分担・教科担任制を導入することで、勤務時間内での授業改善及びPDCAサイクルの定期的な研究ができる時間を確保する。②学校運営が円滑に進めることができるよう組織改革を行い、その成果を次年度以降に引き継げるようにする。
担当	主幹会	
人材育成・組織運営		①メンター授業研究に全職員が関わるとともに、教員一人ひとりがテーマをもって授業実践し、その実践報告や授業公開を行い、全職員の授業力向上を目指す。②新しい組織の確立とともに、チーム学年経営や専科の学年業務分担などを活用し、持続可能な行事や学校運営について検討し、その在り方や内容を推進する。
担当	主幹会	